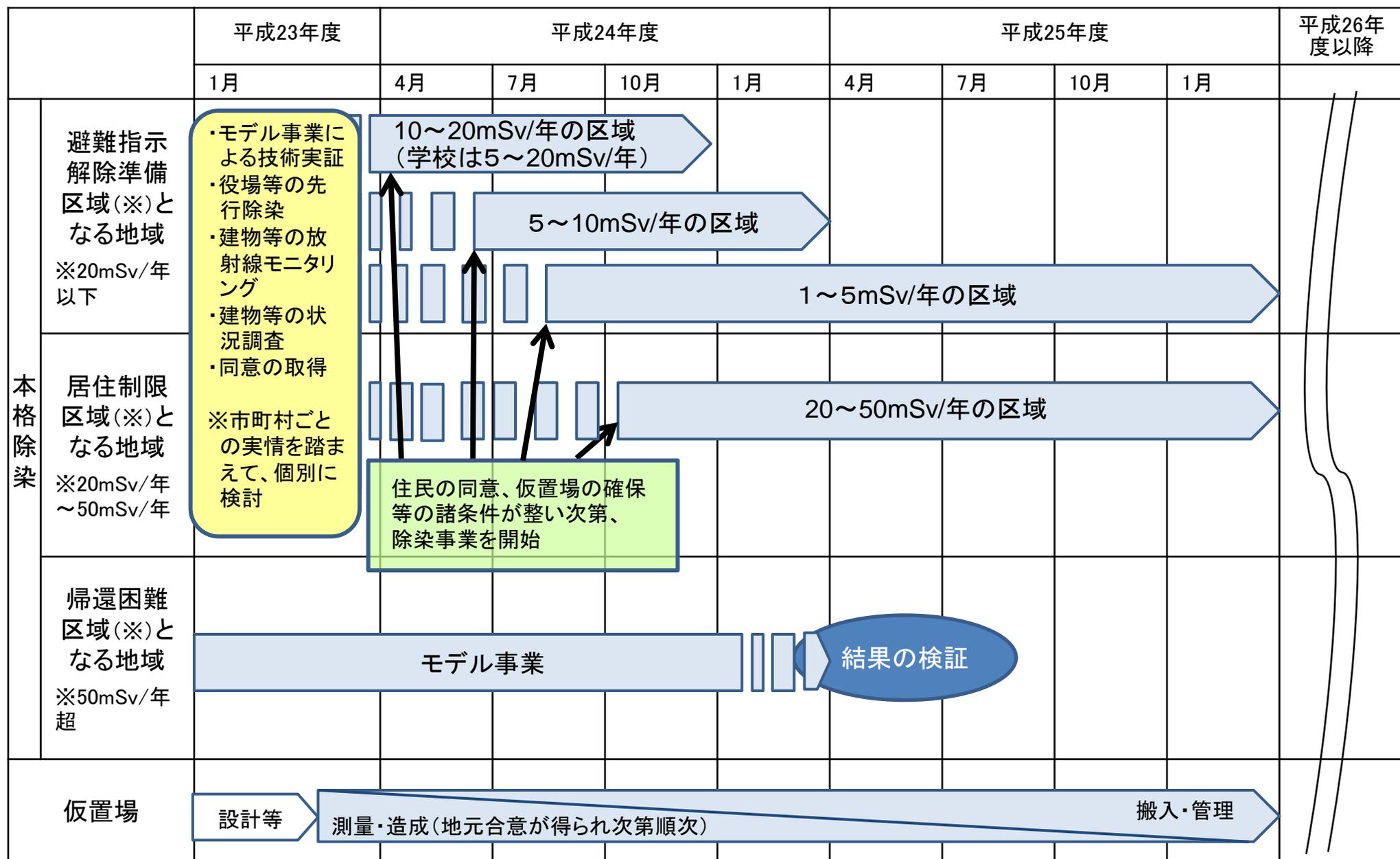


除染の今後の取り組み

環境省

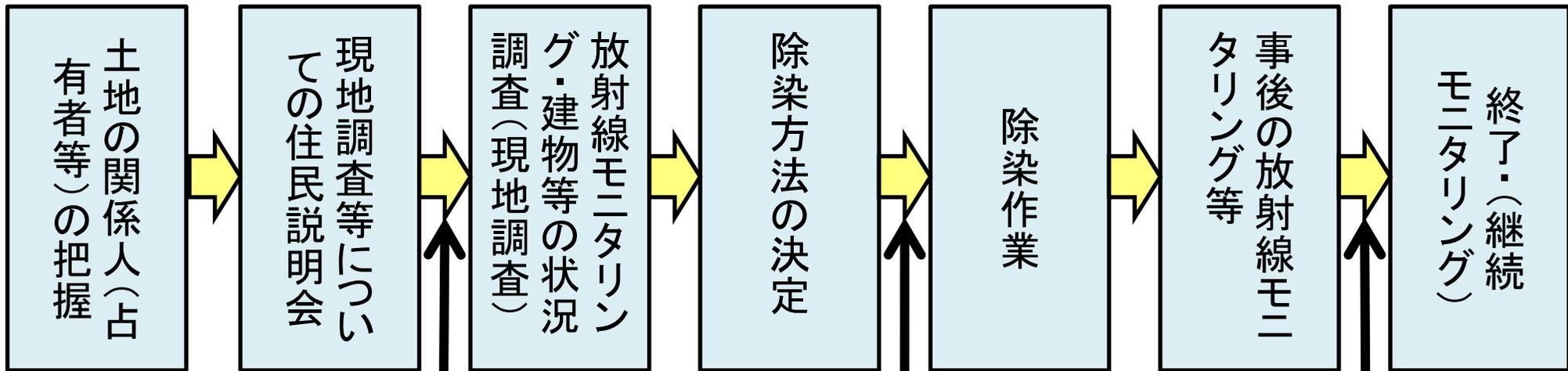
新たな避難指示区域ごとの除染工程表



※具体的な除染の実施に際しては、市町村ごとに除染の手順を設定。

※除染の実施に当たっては、モデル事業(内閣府、環境省)等で得られる技術的知見を適宜取り入れる。

除染工程の一連の流れ



3~4万世帯の調査

約50万箇所のモニタリング、数万棟の建物調査(5ヶ月)

準備が整ったところから、順次、発注

建物等への立入りの了解

除染方法の確認
除染の同意

結果の報告

土地の関係人(占有者等)とのやり取り



水俣病特措法の救済措置申請受付は平成24年7月末までです。心当たりのある方は申請を。

(お知らせ)
「平成23年度除染技術実証事業」に係る
実証試験対象技術の選定結果について

平成24年3月22日(木)
環境省水・大気環境局除染チーム
次長 長：西山 英彦
課長補佐：長谷川敬洋
次長補佐：大能 直哉

環境省では、今後除染作業等に活用し得る技術を発掘し、除染効果、経済性、安全性等を確認するため、実証試験の対象となる除染技術を12月28日(水)より2月29日(水)まで公募いたしました。

今般、応募のあった技術の中から、実証試験の対象となる除染技術22件を選定しましたので、お知らせいたします。

1. 採択結果について

本事業の公募期間(12月28日～2月29日)内に応募のあった295件の提案について、有識者により構成される委員会において厳正な審査を行った結果、実証試験の対象となる除染技術として別紙の22件の技術を選定しました。

2. スケジュール

今後、概ね以下のスケジュールで進める予定です。

- ・平成24年4月～ 実証事業の実施
- ・平成24年9月 結果取りまとめ、実証試験結果の評価を実施

3. 連絡先

環境省水・大気環境局除染チーム技術実証事業担当
電話：03-3581-3351 (内線 6495)

以上

平成23年度除染技術実証事業 採択技術一覧

実施代表者の所属機関	実証テーマ名
東電工業株式会社	真空吸引式超高圧除染装置及び塗膜剥離型除染剤による平面・立面の立体除染、並びに排水処理機能を持つ総合除染システムの実証
マコー株式会社	ウェットブラストによる汚染瓦礫の自動除染システム
三菱化工機株式会社	汚水及び洗浄排水中の放射性物質の処理技術
郡山チップ工業株式会社	植物等焼却灰からのセシウム除去による減容化技術の確立
福島小松フォークリフト株式会社	アスファルト・コンクリート面除染における省力化(高圧洗浄・循環ろ過システム)
国立大学法人 東北大学	低温燃焼による放射能汚染菜の花・稲わら等の減容化・安全処理技術
株式会社 山口製作所	可搬式連続炭化減容装置による放射性物質に汚染された有機物の減容
高砂熱学工業株式会社	乾式磨砕分級システムによるがれきの除染
鉄建建設株式会社	熱分解による放射性有機廃棄物の減容処理技術の実証
富士古河E&C株式会社	乾式分級と表面研磨を組み合わせた土壌洗浄処理技術による放射能汚染土壌の減容化
財団法人 原子力研究バックエンド推進センター	低線量汚染された土壌の放射性物質減量化
株式会社 コンティグ・アイ	汚染廃棄物のうち木質系廃棄物および草本系廃棄物の減容化・除染とバイオエタノール生産による再資源化技術の実証
村本建設株式会社	吸着自走式ウォータージェットはつりロボットを用いたコンクリート壁面除染技術
財団法人 日本グランドワーク協会	エタノール製造装置とガス化発電システムを活用した除染・汚染廃棄物処理システムの構築
前澤工業株式会社	可搬式吸引洗浄機と車搬式分級・濃縮・脱水装置による洗浄水クローズドシステム
株式会社 間組	除染可燃物焼却時に生じた高濃度汚染焼却灰の特殊固化技術による処理
清水建設株式会社	減容率の最適化および濃縮残渣処理の自動化を特徴とする土壌洗浄技術の実証
株式会社 鴻池組	除染に伴い発生する有機物のバイオマスガス化発電による減容化及びエネルギー回収
会津土建株式会社	森林から排出される木質系廃棄物の洗浄による汚染濃度低減技術
株式会社IHI	線量測定による表土剥ぎ取り量の最小化および剥ぎ取り作業の効率化
東洋建設株式会社	水域(湖沼・河川等)の底質を対象とした除染・減容化技術の開発
遠野興産株式会社	放射能汚染されたバークの圧縮成型による減容化

(受付順)